



1 学 期	<p>単元 子どもとかかわる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児を学ぶ意義について理解する。</li> <li>・10代の健康が、将来生まれてくる子どもにつながっていることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。</li> <li>・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。</li> <li>・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいのなかで発達していくことを理解する。</li> <li>・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを生み、育てる意義について理解する。</li> <li>・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。</li> </ul>	<p>1 子どもとは</p> <p>2 子どもの発達</p> <p>3 子どもの生活</p> <p>4 子どもをはぐくむ</p> <p>5 子どものための社会福祉</p> <p>資料集・学習ノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。</li> <li>・子どもの接し方、子どもの衣食住に関わる物作りの技術を身につけている。</li> <li>・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。</li> <li>・子どもの発達段階において、子どもを取り巻く状況について、理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする。</li> <li>・生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。</li> <li>・子どもを取り巻く状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>高齢者とかかわる</p> <p>高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善する。</p> <p>要介護の高齢者に対して、必要な心がけを理解し、手助けできる。介護保険制度について理解する。介護をめぐる課題について理解する。</p>	<p>1 高齢社会に生きる</p> <p>2 高齢者を知る</p> <p>3 高齢者の自立を支える</p> <p>4 高齢社会を支える仕組み</p> <p>資料集・学習ノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の高齢者と接するときに必要な心がけを理解している。</li> <li>・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。</li> <li>・高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。</li> <li>・要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考えることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>高齢社会の現状、新市委の特徴や生活について、積極的に知り、高齢者と関わろうとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	<p>単元 衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。</li> <li>・だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。</li> <li>・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。</li> <li>・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の表示にはどのような種類があるのか、なぜついているのかを理解し、購入から洗濯などの管理に役立つ。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。</li> </ul>	<p>1 人と衣服のかかわり</p> <p>2 衣服の素材の種類と特徴</p> <p>3 衣服の選択から管理まで</p> <p>4 持続可能な衣生活をつくる</p> <p>5 衣服の構造・デザイン</p> <p>資料集・学習ノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。</li> <li>・材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え、判断することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。</p>	○	○	○	16

2 学期	<p>単元 食生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。</li> <li>健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する。</li> <li>栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品の正しい選び方と食中毒に対する予防法を理解する。</li> <li>食品添加物について理解する。</li> <li>家族の食生活の計画と管理ができるようになる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。</li> <li>年齢や性別ごとに異なる一日に必要な食事摂取量と、それを満たすための食品の概量を理解する。</li> </ul>	<p>1 日本の食分野の形成</p> <p>2 私たちの食生活</p> <p>3 栄養と食品のかかわり</p> <p>4 食品の選び方と安全</p> <p>5 食事の計画と調理</p> <p>6 これからの食生活を考える</p> <p>資料集・学習ノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>食事の意義や役割、食生活を取りまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決にむけての判断ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。</li> <li>調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。</li> <li>食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。調理実習においては、積極的に参加し、とりくもうとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	<p>単元 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージや住まう人の住欲求によって平面計画が変化することを理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。</li> </ul>	<p>1 人間の住まい</p> <p>2 住まいの文化</p> <p>3 住まいを計画する</p> <p>4 健康に配慮した快適な室内環境</p> <p>5 安全な住まい</p> <p>6 持続可能な住まいづくり</p> <p>資料集・学習ノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>日本独特の生活様式と、それに伴う住まいの特徴を理解している。</p> <p>住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。</p>	○	○	○	8
	<p>単元 消費行動を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する。</li> <li>また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報リテラシーを身につける大切さを理解する。</li> </ul> <p>単元 経済的に自立する</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭経済を国民経済、国際経済の関係性に気づく。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>に日の暮らしの中で持続可能な社会をめざした行動を知ることができるようになる。</li> </ul>	<p>1 消費行動と意思決定</p> <p>2 消費生活の現状と課題</p> <p>3 消費者の権利と責任</p> <p>4 ライフスタイルと環境</p> <p>5 暮らしと経済</p> <p>7 将来のライフプランニング</p> <p>資料集・学習ノート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む姿勢】</p> <p>自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	合計 70	